

令和 5年度予算見積調書(2月補正予算)

課室名: 高校教育指導課
 担当名: 学びの改革担当
 内線: 6767

(単位: 千円)

番号	事業名			会計	款	項	目	説明事業	
P20	入学者選抜に係る電子出願等研究事業			一般会計	教育費	高等学校費	高等学校総務費	高等学校入学志願者選考費	
事業期間	令和 4年度～	根拠法令	学校教育法施行規則			針路	05 未来を創る子供たちの育成	SDGsゴール	4
						分野施策	0504 質の高い学校教育の推進	SDGsターゲット	4-1, 4-3, 4-6
1 事業概要	入学者選抜における各学校の業務効率化や受検生及び保護者の事務手続の効率化を図るため、入試業務システムの研究・開発や選考手数料・調査書の電子化に向けた研究を行う。 入学者選抜に係る電子出願等研究事業 入札差金及び予算の節減による減額 △4,035千円			5 事業説明 (1) 事業内容 入学者選抜に係る電子出願等研究事業 13,905千円 ア 「入試業務システム」の研究・開発 県立高等学校・・・電子出願による業務効率化 受検生・保護者・・・出願手続の効率化と簡易化 中学校・・・出願事務の効率化と負担軽減 イ 選考手数料・調査書の電子化に向けた研究 入試業務システムと連動した、電子収納による更なる効率化を検討 個人情報の保護と提出書類の真正性の確保について、実現可能な方策について研究 県内の市町村教委・教育事務所からの情報収集と他都道府県との情報共有 (2) 事業計画 入学者選抜に係る電子出願等研究事業 ア 「入試業務システム」の研究・開発 令和5年 6月 入試業務システム導入に係る契約 令和5年 7月以降 入試業務システム導入について県内周知 令和6年 1月 電子出願による業務開始 イ 選考手数料・調査書の電子化に向けた研究 令和5年 6月 電子収納に係る契約 令和5年 7月以降 電子収納について県内周知 令和6年 1月 電子収納による業務開始 (3) 事業効果 県立高等学校の入学者選抜事務の業務効率化、受検生とその保護者が行う出願手続の簡易化 中学校教員等の出願指導等に係る負担軽減 全県への拡大を通じて、全県統一のマニュアル化による入試事故防止の強化 (4) 補正予算の概要 入札差金及び予算の節減による減額					
2 事業主体及び負担区分 (県10/10)									
3 地方財政措置の状況 なし									
4 事業費に係る人件費、組織の新設、改廃及び増員 9,500千円×1人=9,500千円									
予算額		財 源 内 訳						一般財源	補正後の 予算額
決定額	△4,035							△4,035	13,905
現計額	17,940							17,940	

事業内訳書

事業名	入学者選抜に係る電子出願等研究事業		
単位事業名	入学者選抜に係る電子出願等研究事業	予算額	△ 4,035千円

○歳入

(単位：千円)

款・節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
一般財源	△4,035	—	
合計	△4,035	—	

○歳出

(単位：千円)

節	補正予算額	対前年度増減額	主な内容
旅費	△35	—	執行留保等による旅費の減
委託料	△4,000	—	見込みが下回ったことによる委託料の減
合計	△4,035	—	